

平成29年度使用教科用図書選定のための資料

学校教育法附則第9条教科用図書（一般図書）

岩手県教育委員会

平成29年度使用学校教育法附則第9条の規定による教科用図書（見本）理由書一覧

1 図書名

No.	出版社	書名	該当教科	障がい種	学部・学年等	価格
1	あかね書房	わかるわかる じかんのえほん	算数	肢体不自由	小学部・3年（重複学級）	¥1,296
2	あかね書房	よめるよめる もじのえほん.	生活	聴覚障がい	小学部・4年（重複学級）	¥1,296
3	学研	はっけんずかん たべもの	生活	肢体不自由	小学部・5年（重複学級）	¥2,138
4	学研	ちっちゃな おさかなちゃん	図画工作	視覚障がい	小学部・1年（重複学級）	¥950
5	学研	くさばな	生活	病弱	小学部・3年（重複学級）	¥950
6	学研	ひとりのできるよ！図鑑	生活	聴覚障がい	小学部・5年（重複学級）	¥2,700
7	金の星社	あいうえおのえほん	国語	知的障がい	小学部・4年	¥1,836
8	講談社	おえかき しりとり	国語	肢体不自由	中学部・2年（重複学級）	¥1,512
9	こぐま社	てんじつき さわるえほん しろくまちゃんのほっとけーき	国語	視覚障がい	中学部・1年（重複学級）	¥1,296
10	小学館	デコボコえほん のりもの	算数	病弱	小学部・2年（重複学級）	¥1,296
11	世界文化社	ワンダーおはなし絵本 ほっとほっと ホットケーキ	生活	知的障がい	小学部・3年	¥1,296
12	大日本絵画	にぎやか ジャングル	生活	肢体不自由	小学部・1年（重複学級）	¥1,728
13	戸田デザイン	せかいちず絵本	社会	聴覚障がい	中学部・3年（重複学級）	¥1,944
14	日本図書センター	栄養素キャラクター図鑑	職業・家庭	病弱	中学部・1年（重複学級）	¥1,620
15	ひさかたチャイルド	しんかんせんであいこう 日本列島北から南へ 日本列島南から北へ	社会	知的障がい	中学部・1年	¥1,620
16	ひさかたチャイルド	どうなってるの？からだのなか	理科	病弱	中学部・2年（重複学級）	¥1,944
17	ブロンズ新社	あつまれ！全日本ごとうちグルメさん	社会	知的障がい	中学部・2年	¥1,620
18	ポプラ社	音の出る知育絵本16 とけいがよめるようになる！！とけいくん	算数	知的障がい	小学部・5年	¥1,944
19	ほるぷ出版	手であそぼう ゆびであいうえお	国語	聴覚障がい	小学部・3年（重複学級）	¥1,404
20	ミキハウス	ポカポカフレンズ たいこでポン	音楽	知的障がい	小学部・2年	¥3,240

2 一般図書選定の理由書（次頁）

一般図書選定の理由書

番 号	1
--------	---

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	わかるわかる じかんのえほん		発 行 者 名	あかね書房	
図 書 の 内 容	<p>本書は、「時間」や「時計」「時の流れ」について分かりやすく書いてある絵本である。一日の流れがおおまかに分かる時計と挿絵が描いてあり、短針と指し示す数字が分かりやすく赤で塗り分けてある。</p> <p>時を表すことば「昔」「この前」「昨日」「今日」「明日」「今度」「そのうち」などの単語が書いてあるページや、1週間や1か月、四季のページがあり時間の概念が分かりやすく書かれている。</p>				
対 象 学 年	小学部3年(重複学級)	障がい種別	肢体不自由	該当教科	算数
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児は、肢体不自由と知的障がいを併せ有している。知的発達4歳程度である。両下肢に機能障がいがあり、日常生活全般において支援が必要である。一つ一つの活動に精一杯取り組むことができ、にこやかな表情の本児であるが、時間を意識して生活している様子をあまりみることができない。</p> <p>本書を活用することにより、日常生活の中の楽しい時間や、身近に使われる「昨日」「今日」「明日」などの言葉を確認し、時間とは、どのようなものなのかの理解を深めることができると考える。また、算数の学習だけではなく、日常の学校生活や、国語の学習も含めて本書を活用することにより、時計や季節、時間について挿絵をヒントにイメージを膨らませたり、1週間、1か月、1年間の行事をまとめる活動を行ったりすることにより、さらに理解を深め、生活を豊かにしていくことができると考える。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 1日の活動を、時刻とともに表す。 (2) 時を表すことばを使って文章を書く。 (3) 1週間の行事を、日にちとともに表す。 (4) 月カレンダーを作り行事をまとめる。 (5) 1年間を通して季節の行事を振り返る。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	2
--------	---

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名		よめるよめる もじのえほん		発 行 者 名		あかね書房	
図 書 の 内 容		<p>本書は、淡いパステルカラーの柔らかな絵と共に、様々な言葉が取り上げられている。「つち」「かわ」「ほし」「あめ」など自然に関係する言葉や、「いぬ」「いね」など見た目は似ているが間違いやすい言葉、「びかびか」「ぎらぎら」など濁音や半濁音を使用すると言葉の響きが面白くなる言葉、「あっ」「わっ」などのはねた感じがする言葉のように、たくさんの楽しい言葉の世界を表現している。自分たちはその言葉の中で生活しており、文字を読むことで、自分たちの世界が広がっていくことを楽しみながら学べる内容となっている。</p>					
対 象 学 年		小学部4年（重複学級）	障がい種別	聴覚障がい	該当教科	生活	
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児は、聴力が左右とも 80dB の聴覚障がいと知的障がいを併せ有し、知的発達に6歳程度の児童である。小学校1年生程度の学習を行っており、言葉や平仮名に興味をもっているが、平仮名の習得には至っていない。教師や友達に積極的に話し掛け、人と関わりをもつことを好むが、発音が不明瞭なため言葉が伝わりにくい。</p> <p>本書は、見た目は似ているが間違いやすい言葉や響きが面白い言葉など、言葉の楽しさを学べる本である。本書を活用して、言葉の楽しさを教師や友達と一緒に味わったり、本児が使ってみたい言葉を学んだりすることで、教師や友達とのコミュニケーションの広がりや、読むこと書くことへの興味関心の高まりが期待できる。また、擬音語や擬態語などの言葉を自分で考えてみることにより、言葉の楽しさや話す喜びをさらに味わうことができるものとする。</p>					
	指 導 の 概 略	<p>(1) 教室にある物の名前を探し、色々な名前があることを知る。 (2) 友達の名前などから、似ている文字や名前を探す。 (3) 濁音や半濁音を使用した言葉、伸ばす言葉などについて、具体物を使用するなどしてイメージし、実際に言葉を使ってみる。 (4) 擬音語や擬態語など、自分で考えた言葉を、みんなの前で発表する。 (5) 学校生活で取り扱った言葉の面白さについて、本書を活用して分類・整理したり、類推したりする。</p>					

(記入上の注意)

- 1 対象学年の（ ）は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	3
--------	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名		はっけんずかん たべもの		発行者名		学研	
図書の内容		<p>本書は、子どもに身近な料理や食材を、写真と仕掛けで紹介している図書である。レストランの厨房の様子やメニュー、パンの作り方や種類等、食べ物がどのように作られているか、どのような種類があるかなどを、詳しく取り扱っている。また、肉や魚など、スーパーで売られる際には形が大きく変わってしまう食材についても、めくりの仕掛けを使用しながら、分かりやすく描かれている。調理活動や校外学習時での外食、買い物学習に役立ち、食への興味や関心を広げ、食べ物のことが丸ごと分かる内容となっている。</p>					
対象学年		小学部5年(重複学級)	障がい種別	肢体不自由	該当教科	生活	
選 定 の 理 由	児童生徒の実態	<p>本児は、肢体不自由と知的障がいを併せ有している。知的発達は、6歳程度で、両下肢に機能障がいがあり、車椅子を使用している。身辺処理については、ほぼ自立しており、一人で給食を食べることができるが、好き嫌いが多く、給食を残す様子がみられる。また、調理活動やお手伝い、買い物等の経験が少ない児童である。本書を活用することにより、お米からできる食べ物や、肉や魚などの食材を使った料理など、普段何気なく食べている給食や食卓に上がる食べ物について、詳しく考えることができる。様々な人が関わり、たくさんの工程によって、食べ物ができあがることを知ることにより、食という行為に向き合うこと、食を通して自分と社会がつながっていることなどに気づくきっかけになるものと考えられる。</p>					
	指導の概略	<p>(1) 「パン」や「おやつ」「おにくりょうり」などの中から、本児の好きなものを探す。 (2) 選んだメニューの作り方を調べて、実際に調理する。 (3) 校外学習時のメニュー選びや、工場見学などの事前学習として使用し、当日の動きをイメージしやすくする。 (4) 校外学習や、工場見学などの事後学習として使用し、学習内容の理解を深める。 (5) スーパーでの買い物学習で使用し、商品の種類や売り場が分かれていることを確認し、買い物の流れをイメージしやすくする。</p>					

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	4
----	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	ちっちゃん おさかなちゃん		発行者名	学研	
図書の内容	<p>本書は、ちっちゃんおさかなが、お母さんを探すストーリーを、コントラストの強い配色で描いた図書である。赤色のかにのページ、オレンジ色のヒトデのページ、黄色のかたつむりのページ、緑色のかめのページ、青色のくじらのページ、紫色のたこのページに分けられる。イラストの背景色が黒に統一されており、カラフルな色使いが引き立っている。ヒトデやかたつむりの名前も「ツンツン」「グルリンコ」など親しみやすく、子どもの興味を引き出す内容である。</p>				
対象学年	小学部1年(重複学級)	障がい種別	視覚障がい	該当教科	図画工作
選定の理由	児童生徒の実態	<p>視力は両目で0.03の弱視の児童であり、知的発達が遅れも併せ有する。はっきりしたコントラストの色であれば区別ができるが、色の名前はまだ不確かである。本児は、絵を描くことに興味をもつようになり、クレヨンでの色塗りを好んで行うようになってきた。</p> <p>国語の学習を含めて本書を活用することで、物語を楽しみながら、色の名前に関心を持ち、理解することにつながるものとする。また、同じ色の仲間分けをしたり、色を塗ったり、絵を描いたりするといった、日常の学校生活にも学習した内容を広げることができると思われる。</p> <p>また、登場人物の名前の「ツンツン」や「グルリンコ」は色塗りや絵を描く際の声掛けにも使え、楽しく絵を描くことにもつながるものとする。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 読み聞かせを聞く。 (2) 赤色の仲間分けをして、かにの絵や赤色の物を探して描く。 (3) オレンジ色の仲間分けをして、ヒトデの絵やオレンジ色の物を探して描く。 (4) 黄色の仲間分けをして、かたつむりの絵や黄色の物を探して描く。 (5) 緑色の仲間分けをして、かめの絵や緑色の物を探して描く。 (6) 青色の仲間分けをして、くじらの絵や青色の物を探して描く。 (7) 紫色の仲間分けをして、たこの絵や紫色の物を探して描く。 (8) 好きな色を選び同じ仲間の色の物を探して描く。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	5
--------	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名		くさばな	発行者名	学研		
図書の内容		<p>1年間を通して季節の草花の様子が、写真やイラストで描かれている。本書は仕掛け図書であり、春は、チューリップのつぼみ部分をめくると花が現れたり、タンポポの花の部分をめくるとわた毛が現れたりする。夏は、ひまわりが咲いて種になる様子、秋は、紅葉する様子、冬は、雪が降り積もり草花が枯れてから春の場面になる様子と、季節に応じた草花の変化の様子が分かる図書である。</p> <p>1ページ毎が厚く、繰り返し読むことに耐えられる仕様となっている。また、仕掛け部分には、子どもの指が入るぐらいの切り込みが付けられており、めくりやすくなるような仕様にもなっている。</p>				
対象学年		小学部3年(重複学級)	障がい種別	病弱	該当教科	生活
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本児は、慢性疾患で入退院を繰り返しているために学習空白が多く、また、軽度の知的障がいを併せ有している。体調が安定する時期もあり、小学校1年生程度の学習内容に取り組むこともある。植物には興味をもっているが、草花を栽培したり、草花が生長する様子を観察したりするといった長期にわたっての学習活動を行うことが困難であり、経験も不足している。</p> <p>そこで、本書を活用することにより、季節に応じた草花の変化に興味をもたせながら、様子の理解につなげていくことができるものとする。また、本児の体調を勘案しながら、実際に、草花が変化する様子を観察する学習活動を行うことにより、理解を深めたり自然への興味関心を広げたりしていきたいと考える。</p>				
	指導の概略	<p>(1) 教師と一緒に読む。 (2) 春の草花の変化の様子を確認する。 (3) 春の草花を実際に観察する。 (4) 夏の草花の変化の様子を確認する。 (5) 夏の草花を実際に観察する。 (6) 秋の葉の変化の様子を確認する。 (7) 秋の葉を実際に観察する。 (8) 冬の草花の変化の様子を確認する。 (9) 冬の木の芽を観察する。 (10) それぞれの季節で本に載っている花や木を探して見つける。</p>				

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	6
----	---

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	ひとりのできるよ！図鑑		発行者名	学研	
図書の内容	<p>本書は「食べる」「元気」「生活」「マナー」「学び」「あんぜん」の項目に分かれており、子ども達の生活の中の身近なテーマを写真やイラストで分かりやすく説明している。具体的には、箸の使い方、トイレの使い方、掃除の仕方、電車の乗り方、天気、自転車の乗り方等、日常生活を振り返りながら、自立に向けて楽しく学習することができると考えられる。</p> <p>発展、練習、まめ知識、クイズなども載っており、学習内容を深めていくことができる内容になっている。</p>				
対象学年	小学部5年(重複学級)	障がい種別	聴覚障がい	該当教科	生活
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本児は、聴力が左右とも 95dB の聴覚障がいと軽度の知的障がいを併せ有している。基本的な生活習慣は、ほぼ確立しているが、学年相応の生活力が身に付いているとは言い難い。将来の自立を見据えながら、学習内容を焦点化したり関連付けたりしながら、段階的に学習していくことが必要な児童であり、学校生活で学習したことを、家庭生活などの場面で繰り返し取り扱っていくことが大切であるとする。</p> <p>また、学校行事として毎年行う行事や、校外学習・宿泊学習を通して、本書を活用しながらマナーや安全面等について繰り返し学習することによって、実際の生活に役立てたり身に付けたりしていくことにつながるものとする。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 興味・関心のある項目のページを教師と一緒に読む。</p> <p>(2) 自分の生活を振り返り、できることと、行ったことがないこと、苦手なことを確かめる。</p> <p>(3) どのように練習したら良いか確認する。</p> <p>(4) 学校生活で実際に挑戦する。</p> <p>(5) 家庭生活でも取り組んでみる。</p> <p>(6) 発展に挑戦してみる。</p> <p>(7) まめ知識やクイズに挑戦してみる。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	7
--------	---

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	あいうえおのえほん	発 行 者 名	金の星社		
図 書 の 内 容	<p>本書は、平仮名を初めて学ぶ子ども向けの絵本である。見開き左ページには、指先でなぞることができるように平仮名が大きな文字で示されている。見開き右ページには、その文字から始まる簡単な短文と、短文の意味をイメージしやすいように動物をまじえた挿絵が入っている。教科書体で書かれていること、筆順が示されていること、片仮名で書く語には片仮名のふりがながついていることなど、文字に関する事項を丁寧に取り扱っている図書である。</p> <p>「ありがとう」や「ごめんなさい」という大切な言葉も取り上げられており、文字を学習するだけでなく、心の成長にもつながる1冊となっている。</p>				
対 象 学 年	小学部4年	障がい種別	知的障がい	該当教科	国語
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>知的発達が5歳程度の知的障がいの児童である。自分の名前に使われている文字に興味をもち始め、拾い読みができるようになってきている。ひらがなのマッチングもできるようになってきており、人やものの名前は文字で表せることを知り、書くことへの興味・関心を育てながら、読んだり書いたりする学習活動に取り組んでいく段階であると考え。</p> <p>本書は50音の平仮名とともに、子どもが馴染みやすい動物のイラストが描かれており、楽しんで活動に取り組むことができると考える。</p> <p>「あひる」の「あ」や「あり」の「あ」というように、平仮名は、ものの名前と関わりがあることを確認しながら学習を進めていくことで、平仮名の習得につながる可以考虑。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 描かれている絵を確認する。</p> <p>(2) 平仮名カードを用意し、同じ平仮名を探す。</p> <p>(3) 筆順に気を付け、「横」「縦」「くるりん」などの声掛けをしながら文字をなぞる。</p> <p>(4) 自分の名前や友達の名前の平仮名を見つける。</p> <p>(5) 「あ」等のことば集めをする。</p> <p>(6) 短文を読む。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	8
--------	---

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名		おえかき しりとり		発 行 者 名		講 談 社	
図 書 の 内 容		<p>本書は、絵を描いて言葉をつなげる「おえかきしりとり遊び」を題材にしている。たとえその絵が分からなくても、前後の絵が何なのかを確認することで、その絵の最初と最後の字を類推することができる。しりとりそのものにも、言葉遊びとしての国語の基礎的な内容が多く含まれている。それに加えて、本書は、新たな言葉を知る喜び、絵を見て答えを考えるとという想像力や類推力等が培われ、考える力も育まれる内容になっている。また、友達と一緒に読むことで、コミュニケーションをとりながら、楽しく学習することができる内容となっている。</p>					
対 象 学 年		中学部2年(重複学級)	障がい種別	肢体不自由	該当教科	国語	
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本生徒は、肢体不自由と知的障がいを併せ有している。知的発達が8歳程度で、両下肢に機能障がいがあり、日常生活では車椅子を使用しているが、平らな場所であれば自ら移動することができる。人との関わりが苦手で、自分から何かを発信することは少なく、前に出て発表することを苦手としている生徒である。</p> <p>本書は、目を見張るようなおもしろい絵がたくさん描かれており、それぞれの絵にもたくさんの言葉が詰まっている。順番に、何の絵なのかを考えていくことで、周りの友達と自然にコミュニケーションがとれ、楽しさを共有できる。新たな言葉を知ったり、想像力や類推力を培ったりしながら、他者に対して自分から発信していく力も育むことができるのではないかと考える。</p>					
	指 導 の 概 略	<p>(1) 本書の中から、気になる絵を探し、絵の内容を考える。 (2) 気になる絵を友達の前で発表し、前後の絵を見ながら、友達と一緒に絵の内容を考える。 (3) おえかきしりとりのルールを確認する。 (4) 友達と順番におえかきしりとりを行う。 (5) 言葉を頼りに絵を見つけたり、言葉探しゲームを行ったりする。 (6) 絵が描かれているカードを準備し、並び替えながら自分たちのおえかきしりとりを作る。 (7) 学校生活のテーマに応じた条件とするなど、題材を工夫しながら、おえかきしりとりを行う。</p>					

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	9
--------	---

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	てんじつき さわるえほん しろくまちゃんの ほっとけーき	発 行 者 名	こぐま社		
図 書 の 内 容	<p>本書は、点字付きの図書である。本文が点訳されて、さらに、子どもが挿絵の様子をイメージできるように、挿絵の説明も点訳されている。本文と挿絵の部分が点線で分かれており、主人公のしろくまちゃんや、洋服の縞模様、ホットケーキの絵も点や手触りで分かるような挿絵になっている。挿絵は、オレンジ、黄色、緑、青を中心とした鮮やかな色彩で描かれている。</p> <p>図書を広げると、すべてのページが触れられるように置くことができ、子どもの好きなページから読めるようになっていたり、読み終えた最後のページの隣に初めのページがきて繰り返し読めるようになっていたりする。</p>				
対 象 学 年	中学部1年(重複学級)	障がい種別	視覚障がい	該当教科	国語
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本生徒は、光覚があり知的発達に9歳程度の生徒である。点字で簡単な単語の読み書きはできるようになってきた。日常生活においては、簡単な色の区別ができ、残存視力を最大限活用している。</p> <p>挿絵の色や手触りを楽しむことができることから、本書を使って、教師の読み聞かせを聞きながら、挿絵の色や手触りから本書の内容についてのイメージを広げることができると考えられる。</p> <p>短く、分かりやすい言葉で記された本文を繰り返し聞く、読む、転写する、聴写することなどにより、点字の読み書きについて、意欲的に学ぶことができるものとする。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 教師の読み聞かせを聞く。 (2) 挿絵と本文の書いてある部分を確認する。 (3) 挿絵の説明を聞いてイメージしながら挿絵の点字を読む。 (4) いろいろなページのしろくまちゃんを見つける。 (5) 挿絵の説明を聞いてイメージしながら挿絵の様子を手触りや色でつかむ。 (6) 本文の点字を読む。 (7) 本文を転写する。 (8) 本文を聴写する。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	10
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	デコボコえほん のりもの	発 行 者 名	小学館
図 書 の 内 容	<p>本書は全16ページからなり、適度な厚みがあるしっかりした作りとなっている。左側のページは凸で様々な乗り物が、右側のページは凹でその乗り物の乗客や関連する場所などが描かれており、それらを関連付けながら、同じ形のものを見つけること、仲間集めをすることなどの学習活動が期待できる。また、凸や凹で描かれた乗り物などを指で触って形をなぞったり、紙に形を写し取ったりすることもできる。車の数や長さ、形など、数量の基礎となる学習内容が多く含まれ、「バスが1台」「飛行機が3機」「鳥が3羽」など、教え方の違いに気づくこともできるなど、楽しみながら形や数の学習に取り組むことができる。</p>		
対 象 学 年	小学部2年(重複学級)	障がい種別	病弱 該当教科 算数
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>知的発達が3歳程度の児童である。慢性疾患のため長期入院をしている。身辺自立は未確立な部分があり、一部介助を要する。具体物を指さしたり、隠されたものを探したりという、具体物を対象としてとらえる段階である。</p> <p>本書は絵の部分に凹凸があり、見るだけでなく触って確かめることで、具体物を対象としてとらえながら、形や数をイメージすることにつながるものと考えられる。また、取り扱っている題材も、バスや飛行機と、子どもが好みそうなものであることから、数えることや形をなぞることに興味をもって取り組めると考える。また、凹み部分にぴったりはまるような仕掛けを自分で作るなど、形や大きさに関する発展的な学習活動も考えられる。</p>	
	指 導 の 概 略	<p>(1) 凹凸部分を触りながら本を見る。 (2) 飛行機や鳥、車や気球を指で触りながら具体物としてとらえる。 (3) 色や大きさの条件を変えて、当てはまる飛行機や鳥、車、気球を見つける。 (4) 飛行機や鳥、車や気球を指で触りながら一緒に数を数える。 (5) 教師と一緒に鳥や気球、ミキサー車の凹み部分の形を紙に写し取る。 (6) (5) で写し取った絵を切り取って別の厚紙に貼りつけ、はめ絵を作る。 (7) 作ったはめ絵を、大きさを合わせながら凹み部分にはめてみる。 (8) バスに乗っている子どもや電車の数を、一つずつ指さしながら教師と一緒に数える。</p>	

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	11
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	ワンダーおはなし絵本 ほっとほっと ホットケーキ	発 行 者 名	世界文化社		
図 書 の 内 容	<p>本書は、のねずみ兄弟のお兄ちゃんねずみが、ホットケーキを作る内容の図書である。ホットケーキは、食べることはもとより、調理活動としても簡単に取り組むことができ、児童には身近な料理である。本書では、料理の手順に沿った仕掛けが施され、また、出来上がったホットケーキをこすると甘いシロップのにおいが楽しめる。物語の後半には、4つのホットケーキを5人で分ける様子を簡単な仕掛けで楽しめる工夫もされており、みんなで仲良く分けることの良さや、嬉しい気持ちなどにも自然に気づかせる内容となっている。ホットケーキ作りを通して、食育について取り扱うことができる内容となっている。</p>				
対 象 学 年	小学部3年	障がい種別	知的障がい	該当教科	生活
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児は、知的発達に4歳程度のダウン症候群の児童である。身辺処理が未確立な部分があり、一部支援を要する。友達や教師との関わりには積極的で、発語に不明瞭さがあるが、身振りをまじえて自分の思いを伝えようとする様子がみられる。友達や教師のしていることに興味をもち、そばに来て覗き込んだり、一緒にやろうとして手を伸ばしてきたりすることも多い。</p> <p>本書は、教師と一緒に絵本を見る楽しみのほかに、本児が興味をもった仕掛けを自分で動かして楽しんだり、友達や教師に動かして見せその反応を楽しんだりすることができるのではないかと考える。また、ホットケーキ作りの機会を設けるなど、調理活動を体験することで、成就感や次の活動への意欲を高めることが期待できると考える。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 教師と一緒に絵本を見る。 (2) 本書の仕掛けを自分で操作してみる。 (3) 自分の好きな場面を選び、教師と一緒に声に出して読んでみる。 (4) ホットケーキ作りの計画を立て、実際に調理する。 (5) 教師や友達と、できたホットケーキを同じ数になるように分けてみる。 (6) 学年の友達や教師にも自分で作ったホットケーキをプレゼントする。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	12
----	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名		にぎやか ジャングル		発行者名		大日本絵画	
図書の内容		<p>本書は、様々な素材がページに埋め込まれており、動物の特徴に応じた触感を味わいながら、楽しんで動物の様子を理解したり、ジャングルに思いを馳せたりすることができる図書である。本書は、5種類の動物で構成されており、動物の特徴を、短く簡単な言葉で説明している。また、それぞれの動物の特徴に合わせた素材が埋め込まれている。それぞれの動物を押すと、それぞれの動物の鳴き声を聞くことができ、鳴き声も本物に近く、臨場感たっぷりのジャングルを演出してくれる。触覚と聴覚を一度に刺激し、その動物やジャングルをイメージしやすいものになっている内容となっている。</p>					
対象学年		小学部1年(重複学級)	障がい種別	肢体不自由	該当教科	生活	
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本児は、肢体不自由と知的障がい、視覚障がいを併せ有している。両上下肢に機能障がいがあり、食事面や排せつ面など、日常生活全般において支援を必要としている。また、視力に関しても太陽の光を認識している程度である。</p> <p>本児は、文字やイラスト・写真の図書では、題材になっている物をイメージすることが困難である。本書は、動物の毛などを触りながら、その動物の鳴き声や動物が動作する音を聞くことができ、一度に二つの刺激を感じられる。様々な感覚を活用しながら、繰り返し本書を一人で活用したり、本書を通して教師や友達と関わり合ったりすることが期待できる。また、動物等と触れあう機会の少ない児童にとって、動物を知るきっかけになるものとも考える。</p>					
	指導の概略	<p>(1) 教師による読み聞かせを聞く。 (2) 登場する動物を順番に手で触り、感触を確かめる。 (3) 登場する動物を順番に足や顔で触り、感触を確かめる。 (4) 登場する動物を順番に手や足で押しながら、鳴き声や動作音を聞く。 (5) 好きな感触や音を探し、自分で押すことができるような支援を行う。 (6) わにが住んでいる沼地(泥)、ライオンが住んでいる草原(草)などの感触を用意し、感触遊びを広げていく。</p>					

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番号	13
----	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名		せかいちず絵本		発行者名		戸田デザイン	
図書の内容		<p>本書は、世界をヨーロッパ、アジア、アフリカ、オセアニア、北アメリカ、南アメリカの6地域に分けて国の名前や特徴を紹介している。本文は、すべて平仮名と片仮名であり、色彩豊かな挿絵が添えられている。</p> <p>世界の山や川、湖、海と、項目ごとのページもあり、色彩を効果的に活用したイラストにより、理解を深めることができる。また、日本の真夜中の時間は世界の何時になるか、1月の世界各地の人々の服装はどうなっているのかなど、興味を引くような内容もあり、楽しく世界の様子について学習することができる。</p>					
対象学年		中学部3年(重複学級)	障がい種別	聴覚障がい	該当教科	社会	
選定の理由	児童生徒の実態	<p>本生徒は、聴力が左右とも90dBの聴覚障がいと軽度の知的障がいを併せ有している。補聴器を活用しており、ある程度のコミュニケーションはとることができる。これまで本生徒は、岩手の山について簡単な白地図にまとめたり、日本の川や湖に興味があることから積極的に本を読んだりしてきた。ただし、市販の地図帳は、地名や等高線など情報量が多く、本生徒にとっては理解を深めたり興味深く読んだりすることが困難である。</p> <p>本書は、シンプルに世界の様子が表されており、色彩豊かな地図を見る学習を通して、世界について楽しく学ぶことができると考えられる。また、項目ごとのページを活用し、世界の様子について理解を深めるとともに、他の地域の様子についても関心を広げていくことができると考える。</p>					
	指導の概略	<p>(1) 世界地図を調べ、おおまかな地域を知る。 (2) アジアの特徴について調べる。 (3) ヨーロッパの特徴について調べる。 (4) アフリカの特徴について調べる。 (5) オセアニアの特徴について調べる。 (6) 北アメリカの特徴について調べる。 (7) 南アメリカの特徴について調べる。 (8) 世界の山、川について調べる。 (9) 世界の湖、海について調べる。 (10) 世界の時間や服装について調べる。</p>					

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	14
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名		栄養素キャラクター図鑑	発 行 者 名	日本図書センター	
図 書 の 内 容		<p>本書は、私たちの体にとって必要な栄養素がキャラクターに姿を変えて、それぞれの栄養素の果たす役割、含まれる食べ物、適切な栄養素のとり方などを紹介する内容となっている。登場人物である男の子、女の子、ペットの犬が、栄養素の国に出掛けて様々な栄養素のキャラクターと出会いながら、栄養素について楽しく学ぶ設定は、どこから読み進めても楽しむことができる。巻末には栄養素クイズや栄養素キャラクターリスト、用語解説などもあり、学習内容の理解を確認する際にも活用することができる。</p>			
対 象 学 年		中学部1年(重複学級)	障がい種別	病弱	該当教科 職業・家庭
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本生徒は、慢性疾患で入退院を繰り返しており、知的障がいを併せ有している。生活場面や学習場面に活動制限があるものの、小学部段階から制作活動や調理、実験など、実技を伴う学習が可能なときは、それらの活動に意欲的に取り組んできた。</p> <p>普段の食事について、1日の塩分摂取量が制限されているが、最近、味付けや調理法の工夫などで対応できることに興味・関心をもつようになってきた。</p> <p>本書に登場する栄養素キャラクターの解説を通じて、自分の体にとって何が必要な栄養素か、過剰ではいけないものは何か、どのようなとり方ができるかなどについて理解を深めたり、他の家庭分野の学習内容へと興味を広げたりすることができるものとする。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 栄養素の中で、自分が過剰にとってはいけない栄養素を知る。 (2) 本書に出てくる栄養素について確認する。 (3) 本書のクイズのページで、クイズに答えながら栄養素名を知る。 (4) オリジナルのクイズを作って友達や教師と楽しむ。 (5) 献立表を見ながら、栄養素がどの食材から摂れるのか調べる。 (6) 1回の食事で不足している栄養素をどの食事で補うかを考える。 (7) 調理活動の献立を考える。 (8) 調理、会食をする。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	15
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	しんかんせんでいこう 日本列島北から南へ 日本列島南から北へ		発 行 者 名	ひさかたチャイルド	
図 書 の 内 容	<p>本書は、日本を縦断する新幹線の旅の本である。前からでも後ろからでも読み始めることができる。北海道から九州まで、その土地その土地を走る新幹線をはじめ、主要なJR・私鉄各線が掲載されていることから、鉄道路線をたどりながら、見たり聞いたりしたことのある駅名や鉄道名を見つけたり、地名などに自然に親しんだりすることができる。また、新幹線が走る様子を、あたかも上空から眺めているかのように描かれていることから、日本各地の主な都市の様子に興味をもったり、身近に感じたりしながら読み進めることができる。</p>				
対 象 学 年	中学部1年	障 が い 種 別	知的障がい	該 当 教 科	社 会
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>知的発達が7歳程度の知的障がいの生徒である。身辺処理などはほぼ自立している。普段は家族が運転する自家用車での移動が多いが、昨年度の小学部での修学旅行を経験してから、新幹線をはじめとする公共交通機関や、旅行先で見聞きした場所、地名についての興味・関心をもつようになった。</p> <p>本生徒は、普段は自分の住まいのある地域から遠出する機会はない。興味のある新幹線を題材とした本書の活用を通して、小学部で訪れた修学旅行先の地名を見つけたり、自分が乗った新幹線がどこまで走っているのかをたどったりしながら、身近な地域から少しずつ視野を広げ、自分が住む地域と他の地域が結びついていること、それぞれの地域の様子の違いなどについて理解を深めることができるものとする。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 自分が乗った新幹線を見つける。 (2) 修学旅行で降りた駅名を探し、絵地図上で位置を確かめる。 (3) 北海道から九州までの絵地図上でたどる。 (4) 本文に出てくる新幹線の車両名を絵地図上で探す。 (5) 本文に出てくる地名を絵地図上で探す。 (6) 国内を走る新幹線の種類を調べる。 (7) 自分が住む地域と結びついている地域を確かめる。 (8) それぞれの地域の様子について理解する。 (9) 自分が住んでいる地域の様子と、それぞれの地域の様子とを比較する。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	16
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	どうなってるの？からだのなか		発 行 者 名	ひさかたチャイルド	
図 書 の 内 容	<p>本書は、身体のイラストに57の仕掛けが付いており、身体の中の仕組みについて理解することができる図書である。「食べものの通る道」「いきをする」「すばらしい脳の力」など、食べ物のゆくえや内臓の働き、脳の力など、普段目にすることができない自分の身体の仕組みを理解することができる。仕掛けをめくると、内部の働きや仕組みまで見ることができ、身体の細部の様子まで詳しく知ることができる。</p>				
対 象 学 年	中学部2年（重複学級）	障がい種別	病弱	該当教科	理科
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本生徒は、これまで内臓疾患のため入退院を繰り返してきており、学習空白のある生徒である。顕著な知的発達の遅れはないものの、学年相応の教科書を使いながら学習内容を理解することは困難であり、本生徒の学習意欲も低下しがちである。また、食事制限や運動制限などの生活規制が必要な生徒でもある。</p> <p>本書は、身体の仕組みが詳しく描かれている。イラストの仕掛けをめくりながら、身体の内部の様子を理解することができること、短く分かりやすい言葉で身体の説明がされていること、漢字にはルビがふってあることなどから、本生徒にとって学習内容を理解しやすい図書であると考えられる。また、生活規制が必要な本生徒にとって、身体の働きを知ることは、自分を知ることにつながり、自分の身体を自分で管理していくことの基礎となるものでもある。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 食べ物のゆくえや内臓の働き、脳の力など、それぞれの項目に分け、自分が一番知りたい身体の仕組みや働きについて調べ、模造紙にまとめる。</p> <p>(2) 友達の前でポスター発表をする。</p> <p>(3) 動物の身体などを調べ、人間との違いを考える。</p> <p>(4) 健康な生活を送るために必要なこと、今後の生活について気をつけていきたいことを考える。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の（ ）は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	17
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	あつまれ！ 全日本ごとうちグルメさん	発 行 者 名	ブロンズ新社		
図 書 の 内 容	<p>本書は、北は北海道から南は沖縄まで、美味しそうなご当地グルメの数々がキャラクターになって登場している。おやつや食材がキャラクターに変身し、各地の地形や方言なども紹介している図書である。</p> <p>岩手であれば、「わんこそばちゃん」や「南部せんべい」。東京であれば「江戸前ずし三代目」や「人形焼き」などが描かれている。様々な食べ物を通して都道府県に興味をもち、読み進めていくうちに各都道府県の地図や特徴的なエピソードなどを学ぶことができる。おいしくたのしく47都道府県を覚えることができる内容となっている。</p>				
対 象 学 年	中学部2年	障がい種別	知的障がい	該当教科	社会
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>知的発達に8才程度の知的障がいの生徒である。食べることが大好きで、調理活動の際には意欲的に活動する様子がみられる。また、本を読むことも好きであるため、休み時間に様々な本を読み、興味を広げている。</p> <p>修学旅行を意識し、旅行先の都道府県のご当地グルメやおやつを楽しく調べたり、地形や方言を知ったりすること、また、旅行先以外の都道府県と比較することなどを通して、修学旅行への楽しみを深めることができると考える。実際に、修学旅行先で食べたり、お土産として買ったりすることで、旅行の楽しさを周りの人と共有することにもつながる。さらに、今後食べてみたいご当地グルメや、気になる方言を調べることを通して、全国の都道府県の知識を広げたり理解を深めたりすること、今後の余暇活動を充実させていくことにもつなげていくことができると考える。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 岩手のご当地グルメやおやつを調べる。</p> <p>(2) 小学部の修学旅行で訪れた宮城のご当地グルメやおやつを調べる。</p> <p>(3) 中学部の修学旅行で訪れる東京のご当地グルメやおやつを調べる。</p> <p>(4) 岩手や宮城、東京の場所を日本地図で確認したり、特徴的なエピソードを理解したりする。</p> <p>(5) 岩手について、他のご当地グルメやおやつなどをさらに調べ、実際に校外学習や買い物学習の際に食べてみるなど、理解を深める。</p> <p>(6) 東京について、他のご当地グルメやおやつなどをさらに調べ、知識を広げる。</p> <p>(7) 他に気になるご当地グルメを探し、その都道府県について詳しく調べる。</p> <p>(8) 社会的事象について知識を広げたり理解を深めたりする。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	18
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	音の出る知育絵本 16 とけいが読めるようになる!!とけいくん		発 行 者 名	ポプラ社	
図 書 の 内 容	<p>本書は、時計の読み方を覚えることにつながる、音の出る図書である。「とけいくん」が解説してくれる絵本を読み、実際に時計の長針を動かしながら、時計の読み方を学ぶことができる。長針の先には穴が開いており、その穴からは長針が示す「分」の数字を読むことができる。また、長針と短針の色が分かれていること、文字盤の時間帯で色分けされていることなどから、時計の読みやすさを補助している。</p> <p>ボタンを押すことで、5分刻みの時刻を音声で教えてくれるため、読んだ時刻の確認を行うこともできる。さらに、「とけいあわせゲーム」が付いているので、楽しみながら時計に親しむことができる。</p>				
対 象 学 年	小学部5年	障 が い 種 別	知的障がい	該 当 教 科	算数
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>知的発達に6歳程度の知的障がいの児童である。身辺処理はほぼ自立しており、今日の予定や今週の予定など、ある程度見通しをもって生活することができる。また、授業時間の始まりや終わり等を、タイマーを見ながら意識することができる。</p> <p>本書は、「ちょうどの時刻」、「30分の時刻」、「何時何分の時刻」、「アナログ時計とデジタル時計の対応」と段階的に構成されており、本児の理解状況に応じながら活用することができる。また、針が示す時刻を音声で教えてくれ、正解をすぐに確認するといった学習活動を展開することができる。登校時刻や、給食、下校時刻など、本児の生活に関わりのある時刻を、温かなイラスト、分かりやすい構成により楽しみながら学習することができる。繰り返し学習すること、復習することなど、有効に使用することができる図書であると考えます。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 長針を動かし、長針が動くことで短針が動くことを確認する。</p> <p>(2) 一日(24時間)の生活の流れを、絵やカードを使用しながら確認する。</p> <p>(3) 起きる時刻や寝る時刻、好きなテレビが始まる時刻など、本児に関わりのある「ちょうどの時刻」を話したり、時計を読んだり表したりする。</p> <p>(4) 朝食の時刻や好きなテレビが終わる時刻など、本児に関わりのある「30分の時刻」を話したり、時計を読んだり表したりする。</p> <p>(5) 登校時刻や、授業開始・終了の時刻など、本児に関わりのある「何時何分の時刻」を話したり、時計を読んだり表したりする。</p> <p>(6) 「とけいあわせゲーム」やチャレンジ問題を解く。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	19
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	手であそぼう ゆびであいうえお	発 行 者 名	ほるぷ出版		
図 書 の 内 容	<p>本書は「あ」から「ん」までの指文字を、イラストと簡単な解説で表している。「あ」「い」「う」「え」「お」は1ページずつ、「か」から「ろ」までは見開き2ページで5文字（「や行」は3文字）の指文字を取り扱っている。「わ」「を」「ん」も同様に見開き2ページで指文字がイラストで描かれている。本書の後半には、指文字を使った自分の名前の表し方と登場人物の名前、巻末には、相手から見た指文字と自分から見た指文字による指文字50音表が掲載されており、指文字を練習する際や、実際に指文字を使う際に活用できる。</p>				
対 象 学 年	小学部3年（重複学級）	障がい種別	聴覚障がい	該当教科	国語
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>知的発達が5歳程度の聴覚障がいのある児童である。聴力は左右ともに90dBであり、補聴器をつけた状態で相手と対面し、大人がゆっくり大きな声ではっきり話す言葉が聞き取れる程度である。小学部2年間を過ごし、日常の学校生活のリズムは、ほぼ整ってきた。自分から何か要求したいことがあるときは、その場所や物のところまで教師などの手を引っぱって伝えることが多い。</p> <p>今年度からは、本書を活用して、自分の名前に使われている指文字について知ることから始め、自分でその指文字を表現すること、家族の名前や友達の名前、本児と関わる教職員の名前へと指文字で表現する対象を広げていきたいと考える。このような活動を通して、コミュニケーション手段を広げること、コミュニケーションの楽しさを味わうことにつなげていきたいと考える。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 自分の名前に使われている指文字のページを見る。 (2) 自分の名前に使われている指文字を表す。 (3) 「あ」から「ん」までの指文字を見てまねる。 (4) 自分の名前を紹介するページを見て、自分の名前を相手に伝える。 (5) 家族の名前を指文字で表す。 (6) 教師や友達の名前を指文字で表したり、相手が表した指文字を読んでみたりする。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の（ ）は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	20
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	ポカポカフレンズ たいこでポン	発 行 者 名	ミキハウス		
図 書 の 内 容	<p>本書は、子どもたちになじみのある童謡のほか、英語やクラシックの曲など計20曲が収録されており、それぞれのページは、曲に関係のあるイラストが明るい色調で描かれている。それぞれのページの曲を歌ったり、演奏に合わせてたりしながら、大小2つの付属の太鼓を鳴らすことができる。曲はリズム打ちの難易度によって「かんたん(初級)」「ふつう(中級)」「むずかしい(上級)」の3段階に分かれており、リズム打ちの出来栄を台詞と音で確かめることができる。なお、付属の太鼓は、付属のばちで叩いて音が出るだけでなく、指先で叩いても音が出るので、直接手で叩いて楽しむこともできる。</p>				
対 象 学 年	小学部2年	障 がい 種 別	知的障がい	該 当 教 科	音楽
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>知的発達が3歳程度のダウン症候群の児童である。教室では、「立ちます」、「座ります」、「始めます」、「終わります」など簡単な指示であれば、教師の身振りと口頭指示を聞いて、自分で動くことができる。</p> <p>音楽活動を好み、音楽の時間は笑顔も多くみられる。楽器を使った活動も好きで、鈴やマラカスなど片手で鳴らす楽器だけでなく、タンブリンやカスタネットなどの両手で扱う楽器についても、曲が流れている間、音を鳴らし続けることができるようになってきた。本書を活用し、知っている曲を簡単なリズム打ちで楽しむことができると考える。また、新しい曲にも親しんだり、教師と一緒に様々なリズム打ちを楽しんだりすることができると思う。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 本書に収録されている曲を確認する。 (2) 知っている曲や好きな曲を歌ったり、聴いたりして音楽を楽しむ。 (3) 曲のリズムの特徴を感じ取って、身体を動かす。 (4) 付属のばちや手で太鼓を打ち、音を出してみる。 (5) 知っている曲や好きな曲を聴きながら、教師と一緒にリズム打ちをする。 (6) 知っている曲や好きな曲を聴きながら、自分でリズム打ちをする。 (7) 新しい曲やリズムが難しい曲を、(3)～(6)の流れで活動する。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。